

最終評価	
○ 成果と▽ 課題	● 次年度への方策等
<p>【第1学年】</p> <p>○かたかな・漢字は定着してきた。ひらがなの促音、拗音、長音は繰り返し練習したことで定着してきた。</p> <p>○繰り上がりのたし算、繰り下がりのひき算は、10のまとまりを意識して計算ができるようになった。</p> <p>△「は」「を」「へ」を文章の中で使うことができていない。</p> <p>【第2学年】</p> <p>○音読集の活用や音読課題について家庭と連携を図ったことで、単語の意味を理解して音読ができるようになった。</p> <p>○具体物を積極的に活用して学習を行うことで、量的感覚が身に付いてきた。</p> <p>▽九九の暗記や漢字の定着などに個人差が大きく見られる。</p> <p>【第3学年】</p> <p>○学習の振り返りや発表者に向けての感想は、全員が伝えられるよう時間を十分に確保した。最初は、うまく伝えられなかった児童も回を重ねるごとに感想や振り返りを伝えられるようになった。</p> <p>○教室内の読書環境を整備したり、区立図書館からの学習本の貸し出しを行ったりしたので、読書量が増えたとともに、いろんな種類の本に親しむことができた。</p> <p>○四則計算の練習をベーシックタイムや学習で取り組んだので基礎的な計算は定着した。区学力調査の結果を見ても、知識・技能の観点は達成率が昨年度よりも10%上昇した。</p> <p>▽読む力を高め、算数の活用や文章問題などを理解できるようにする。</p> <p>【第4学年】</p> <p>○日常的に意識して板書に熟語を用いることで、意味を確認したり、調べたりする機会になった。</p>	<p>【第1学年】</p> <p>●作文学習で、正しいかなの表記ができるよう、指導を続けていく。</p> <p>●計算では、10のまとまりが意識できるように、ブロック操作に合わせて言葉で説明をすることで定着を図る。</p> <p>【第2学年】</p> <p>●音読課題についての家庭との連携、音読テスト、語彙を増やす活動などを取り入れ、児童が単語の意味を理解して音読ができるよう引き続き指導を行う。</p> <p>●数量感覚を養えるよう、体験的活動を取り入れた学習を次年度も行う。</p> <p>【第3学年】</p> <p>●話し手の方を見て、大事なことを落とさずに聞くことができるよう、指導を続けていく。</p> <p>●単位の変換、時刻と時間、図形の学習内容がしっかり理解できていない様子が見られるので、宿題等で定着を図る。</p> <p>【第4学年】</p> <p>●ノート指導を継続し、既習の漢字や言葉は積極的に使えるよう声をかける。</p>

○書く活動や振り返りにおける表現力については、ある程度の文型を決めたことで全体的な質が底上げされた。自分なりに工夫して書こうとする児童も出てきている。

▽漢字や言葉については、個人によって振り返りや作文などにおける使用頻度が異なるため、定着度にも差がある。

【第5学年】

○グループでの話し合い活動の機会を増やした。その際、話す視点を定め、話し方がある程度決めたことで、自分の意見や考えを積極的に話すことができるようになった。

○国語以外の授業でも、国語・漢字辞典を積極的に使おうとする児童が増え、語彙の習得にもつながってきている。

○ベーシックタイム算数での基礎的な計算練習により、簡単な四則計算が少しずつ定着してきている。区学力調査でも、知識・技能の観点は昨年度よりも5%上昇している。

▽自分の意見や考えを言葉で話すことができる児童は増えてきたが、それを文章で書くことが難しい児童が多い。

【第6学年】

○短時間で取り組める問題（5分チャレンジ）を定期的の実施してきたことにより、既習事項の復習ができ、学力向上へとつながった。

○区学力調査において、特に算数科でD層の割合が約25%減り、クラスの半数以下となった。

▽題意を正しく捉えることができない児童が見受けられ、既習事項を活用して解く問題に対して、苦手意識を持っている児童が多い。

●定着度を高めるため、朝学習や家庭学習などの機会を用いて既習の単元の内容について定期的に復習する。

【第5学年】

●調べたことや考えたことをどのようにまとめ、表現させていくか、文章を使って書くことを中心に、学習の内容や児童に合った方法を考え、継続的に行っていく。

●今後も、朝学習や、家庭学習などで、漢字・基礎計算の練習を継続的に繰り返していく。

【第6学年】

●区学力調査の結果を踏まえ、デジタルドリル（ドリルパーク）を活用し、個別最適化された課題に取り組ませる。

●区内中学校へ進学する児童は、区学力調査の結果が引き継がれる。進学先においても、自分の課題と向き合えるように声をかける。